



短期大学部  
保育科第一部 / 保育科第三部

▶ 保育実習指導Ⅱ・教育実習

保育実習Ⅱの事前事後指導としての授業で、『エプロンシアター』を作成しました。

構想から材料の調達、制作まで学生自身が全て手作りしました。実習前の授業で、学友を前に演じ練習してから実習に行きました。実習中に、子ども達の前で実演させていただき、学友と子ども達の反応の違いに、保育の難しさと面白さを感じることができたようです。

学生時代に作った世界に一つの『エプロンシアター』は、卒業後も“宝物”になることでしょう。



共通教育機構

▶ 兵大京都学

この授業では、単に講義を聴くだけではなく学外、それも京都へ出かけます。

兵庫大学の建学の精神という観点から京都を見つめ、それぞれが決めたテーマに沿って調査し、実際にその場に身を置いて全身で感じ、それらをふり返ります。今年度の「兵大京都学」では、龍谷山本願寺、紫雲山頂法寺(六角堂)などを訪れ、説明等を受けました。身体性を通じた建学の精神への理解の深まりを願うとともに、地域の皆様のご協力に感謝いたします。



編集後記

いよいよ今年も終わりに近づいてきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今回のvol.5のテーマは「地域での学び」です。昨年度発刊しましたvol.2の第2弾となります。今回も各学科の学生が大学のキャンパスを飛び出し、施設等での実習や地域貢献活動、地域をフィールドとした調査研究や地域での課題解決型学習に取り組んでいる様子などを掲載しました。このような様々な「地域での学び」は、学生にとって、まさに実践的で生きた学びを体験できる貴重な場であり、地域の方々との交流を通して、「成長」を実感できる機会でもあります。地域の皆様方には、いつもこのような学びの場をご提供いただき、感謝申し上げますとともに、これからも学生の「成長」を共に支援していただけますよう、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、学科等での学びをご紹介いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

広報委員会ニュースレター作成チーム 一同

# Hyodai Learning

december 2018

vol.05

HYOGO University



大学祭「聚萌祭」

ダンス部(野外ステージ)

## ありがとうの プロフェッショナルへ。

「ありがとう」にあふれる人生を送ってほしい、それが私たちの願いです。

あらゆることに感謝の念を抱きながら、仕事をさせていただくこと。

他者にこころを寄せ、おたがいに認め合い大切にしようこと。

そして、他者とおたがいに譲りあい、助けあうこと。

すると、やがてあなた自身が「ありがとう」という感謝の言葉をいただくことができる専門家となります。

それこそが、私たちが目標とする“ありがとうのプロフェッショナル”なのです。

私たちはあなたの一生を支える力を育みます。

生きる力に変わる学びを、あなたに。



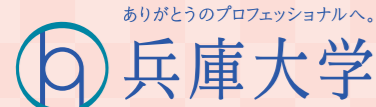
吹奏楽部  
おこのみやき・綿菓子

フットサル部  
チーズドック

学生会  
漫才(野外ステージ)

ウェイトリフティング部  
アームレスリング屋台

女子バスケットボール部  
チーズドック・揚げ餃子



ありがとうのプロフェッショナルへ。

<http://www.hyogo-dai.ac.jp>

兵庫大学



公式サイト



受験生応援サイト



Twitter



バックナンバー

Hyodai Learning

**現代ビジネス学部  
現代ビジネス学科**

**▶プロジェクト実践「高砂元気プロジェクト」チーム**

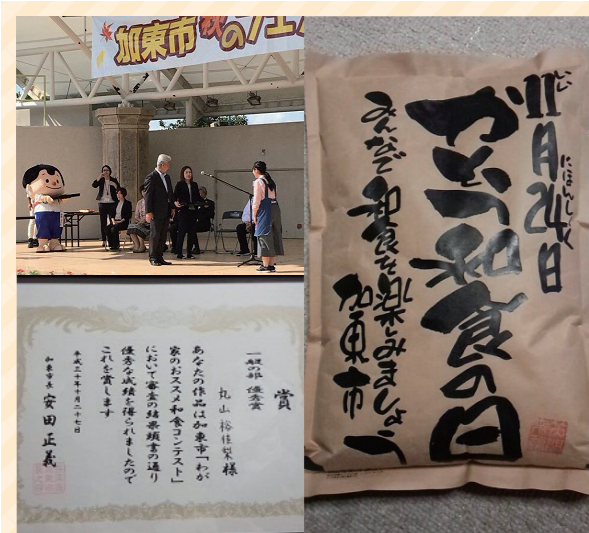
現代ビジネス学科3年生の「高砂元気プロジェクト」のチームが、高砂銀座商店街で店舗の取材を実施しました。頑張っておられるお店を取材して、記事をSNSで情報発信する活動です。また、高砂市で買い物アンケートも実施しています。サンモール高砂が撤退した後の影響について調査するものですが、1軒1軒戸別訪問をしながら聞き取りをしていく地道な活動です。BAN-BAN TVの取材も入り、学生はモチベーションを上げて取り組みました。



**看護学部  
看護学科**

**▶外国人のための国際健康教室**

7月1日(日)に看護学科・現代ビジネス学科の学生が主体となり、加古川市国際交流協会後援による「外国人のための国際健康教室」を加古川総合保健センター(ウェルネージ加古川)で実施しました。当日は、アメリカ、イギリス、フィリピン出身の方々が参加して下さいました。学生は、「日本の中でも外国の方に接することができます、とてもいい経験になった」などと、大学内だけでなく、地域の中で生きた学びの機会となりました。



**健康科学部  
栄養マネジメント学科**  
(管理栄養士養成施設)

**▶公衆栄養臨地実習から発展学習へ**

8月下旬に実施した加東市保健センターでの実習では、同市が「和食」をキーワードに推進している食育・健康増進事業、「かとう和食の日」のイベントで活用できるポスターの制作を行いました。実習終了後も、管理栄養士をめざす学生として実際に、同市主催の「わが家のおススメ和食コンテスト」に応募し見事「優秀賞」に輝きました。最終審査での料理や舞台での表彰は緊張したものの、一歩前に踏み出すよい機会となりました。

**生涯福祉学部  
社会福祉学科**

**▶課題解決型学習で地域に貢献する!**

社会福祉学科では、看護学科との共同で課題解決型学習 PBL (Project-Based Learning)として、「認知症カフェ」を3年前から実践しています。2~3ヶ月に一度のペースですが、地元加古川市内の方々と交流しながら、高齢者の外出機会の創出や地域の困りごとの早期発見と対処について考えています。今夏の西日本豪雨では、被災地にカフェが出向くという、アウトリーチ型の実践を行いました。「がまんの日」の被災者の方々に、煎りたてコーヒーでひと時のくつろぎを提供しました。



**健康科学部  
健康システム学科**

**▶地域で学ぶ、初年次教育**

基礎ゼミⅡの米野ゼミでは、「からだ」や「発育発達」といったテーマのもとで、実際に地域に出向き、調査を実施し、地域課題について成果をまとめ、相互に発表しています。1回目は、明石城公園で開催された「ひょうご五国博ふれあいフェスティバル」に4名の学生が参加しました。認知症予防やロコモティブシンドローム予防をテーマにした「ヘルスチェック by 兵庫大学」のブースを出展しました。参加者アンケートをまとめる中で、高齢者の認知症やロコモティブシンドロームへの関心の高さや地域における取組の必要性について学習することができました。



**生涯福祉学部  
こども福祉学科**

**▶子育て支援地域活動Ⅱ**

こども福祉学科「子育て支援地域活動Ⅱ」では、学生が地域の親子との触れ合いを通して学びます。加古川市の子育て施設である「東加古川子育てプラザ」で開催されている0~2歳児の子育てサークルに参加しました。スタッフやサークルに来られた保護者から、子育ての話聞かせていただいたり、子どもと遊んだり、絵本の読み聞かせやゲームなどをしました。子育て支援の現状を知り、各学生が今後の学びの課題を得ています。

